

長野県新産植物ゴマノハグサ科 サツキヒナノウスツボ *Scrophularia musashiensis* の記録

川上 美保子*・加藤 順・星山 耕一

ゴマノハグサ科サツキヒナノウスツボ
Scrophularia musashiensis
上田市独鈷山御屋敷沢標高 950m 付近
2013 年 5 月 21 日記録 NAC165810

「独鈷山頂上付近でゴマノハグサ科ゴマノハグサ属の花を見かけた。時期は 5 月だったのでサツキヒナノウスツボと思われるので確かめて欲しい」と星山より 2012 年に連絡があった。2013 年 5 月 21 日、川上・加藤で現地に向かった。頂上付近で数株の開花個体が生育していた。

草丈は約 50cm であった。葉は卵形体でやや規則正しい粗い鋸歯をもち膜質であった。先端は突形で葉裏にまばらな軟毛が点在していた。下部を除くほとんどの葉腋から細長い花序をだし、頂生に花序をつくっていた（清水 2001・神奈川県植物調査会 2001）。

生育地は乾燥していて不安定な礫岩地であった。高木層はミズナラとケヤキが主であった。草本層は、他にタガソデソウ、ミヤマイラクサ、キヌタソウの生育を確認した。

伊那谷に生育するイナサツキヒナノウスツボ *S. musashiensis* var. *ina-vallicola* は、頂生の花序はつくらず葉はやや細長く先端は鋭尖形で、生育地は溪畔の水辺である（清水 1997、2001）。

頂生の花序の有無、葉の形、生育環境で変種と違いがあった。

謝辞

標本同定は中山洸氏が行った。記して謝意を表す。



写真 1 サツキヒナノウスツボ

引用文献

- 清水建美（監）（1997）長野県植物誌．信濃毎日新聞社．
神奈川県植物調査会（編）（2001）神奈川県植物誌 2001．神奈川県立生命の星・地球博物館．
清水建美（著）（2001）図説植物用語事典．八坂書房．

* 川上美保子 〒386-0005 長野県上田市古里 2117